



2020年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小糸 晋 TEL 03(3443)3711
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	36,481	△2.7	1,268	△41.1	993	△48.4	769	△47.6	733	△47.7	△2,693	—
2019年12月期第1四半期	37,480	8.7	2,154	149.4	1,927	—	1,468	—	1,402	—	1,461	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	10.30	10.28
2019年12月期第1四半期	19.70	19.67

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	261,543	79,942	78,228	29.9
2019年12月期	252,984	83,413	81,537	32.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	84,000	6.4	4,000	12.4	3,500	16.7	2,300	20.7	32.30
通期	174,000	5.0	11,000	△11.8	10,000	△12.1	6,000	△11.9	84.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	74,286,464株	2019年12月期	74,286,464株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	3,067,749株	2019年12月期	3,067,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	71,218,726株	2019年12月期1Q	71,187,408株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 決算成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高 40,079百万円（前年同期比 8.2%減）、売上収益 36,481百万円（同2.7%減）、営業利益 1,268百万円（同41.1%減）、税引前利益 993百万円（同48.4%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益 733百万円（同47.7%減）となりました。

工業部門では、産油国間の価格競争激化や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う原油需要の減少等の影響により3月以降に原油価格が急落し、石油関連事業の原油・ガス採掘など上流分野では3月に入り受注が急激に落ち込みました。既に進行中のプロジェクトの中止、延期は限定的ですが、新規投資案件の中止、延期が発生しています。産業ガス・LNG関連事業は、景況感悪化を受け、一部の投資案件における投資判断の延期やプロジェクトの進捗遅れが発生しています。航空宇宙事業は、当第1四半期においては米ボーイング社の737MAX生産停止の影響により受注高・売上収益が前年同期比で減少しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で世界中の航空会社が運航本数を大幅に削減しており、今後、航空機需要全体が大幅に減少する可能性があります。以上の結果、工業部門全体では前年同期比で減収減益となりました。

医療部門では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国内外の営業活動は制約を受けていますが、血液透析装置の販売は前年並みを確保しており、昨年からの販売を開始した国内の新型装置の引合いも伸長しています。また、急性腎不全への対応やウイルス感染予防のニーズの高まりにより、CRRT事業やヘルスケア製品の販売が伸長し、医療部門全体では前年同期比で増収増益となりました。

このほか、昨年下半年より本格的に開始した国内拠点再編に関わる費用が対前年同期比で増加し、全社では前年同期比で減収減益となりました。

② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2019年12月期 第1四半期実績	2020年12月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	43,657	40,079	△3,577	△8.2%
工業部門	28,588	25,064	△3,523	△12.3%
インダストリアル事業	24,423	21,210	△3,212	△13.2%
航空宇宙事業	4,102	3,734	△367	△9.0%
医療部門	15,068	15,014	△53	△0.4%
売上収益	37,480	36,481	△998	△2.7%
工業部門	24,304	22,108	△2,195	△9.0%
インダストリアル事業	20,055	18,329	△1,726	△8.6%
航空宇宙事業	4,168	3,664	△504	△12.1%
医療部門	13,175	14,372	+1,197	+9.1%
セグメント利益	2,154	1,268	△886	△41.1%
工業部門	2,089	1,253	△836	△40.0%
医療部門	900	998	+98	+10.9%
調整額（全社費用等）	△835	△984	△148	—
税引前四半期利益	1,927	993	△933	△48.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,402	733	△668	△47.7%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の実績が含まれています。

※ 2020年1月1日付け組織再編に伴い、精密機器事業本部をインダストリアル事業本部に統合したため、精密機器事業の数値をインダストリアル事業に含めて記載しています。なお、精密機器事業のうち粉体計測機器事業を2019年第3四半期に売却しています。

《工業部門》

＜インダストリアル事業＞

インダストリアル事業の受注高は21,210百万円（前年同期比13.2%減）、売上収益は18,329百万円（同8.6%減）となりました。

石油関連事業は、産油国間の価格競争激化や新型コロナウイルス感染症拡大による原油価格下落を受け原油・ガス採掘など上流分野の受注は低調に推移しました。下流分野である石油化学市場は、需要の減速により投資の先送りや定期修繕の見直しが行なわれるなど逆風が吹き始めたものの、現在のところ、受注への影響は出ていません。LEWA社は、3月に入り上流分野において急激に受注が落ち込んだものの、下流分野の案件が好調に推移したため受注高は前年同期比で増加しました。売上収益面では、生産の進捗遅延と営業活動の制限によるアフターセールス事業の停滞により、前年同期比で減収となりました。

産業ガス・LNG関連事業は、景況感悪化を受け、LNG関連施設の投資案件における投資判断の延期やプロジェクトの進捗遅れが発生したため、受注高は減少しました。Cryogenic Industriesグループ（以下、CIグループ）は、既受注案件の生産・出荷が進み増収となりました。なお、CIグループは、小規模LNGプラントの設計・建設を手掛けるエンジニアリング部門を強化することによって顧客への提案の幅を広げ、事業の拡大を図っています。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の停滞と原油価格の下落により事業環境が急速に悪化していますが、中長期的なLNGの需要増加に対応するため、宮崎でのクライオジェニックポンプ試験設備の今年度中の完工を目指していきます。

＜航空宇宙事業＞

航空宇宙事業の受注高は3,734百万円（前年同期比9.0%減）、売上収益は3,664百万円（同12.1%減）となりました。

当第1四半期においては、米ボーイング社の737MAX生産停止を受け、同機向けのカスケードが出荷停止となり販売が減少しました。また、宮崎工場の減価償却費等の経費が増加したため、前年同期比で減収減益となりました。中長期的には、航空機需要は新興国を中心とした旅客輸送需要の増加によって堅調に伸びていくものと予測されますが、世界中の航空会社における運航本数の大幅削減を受けて航空機需要全体が急速に減少していることから、事業環境の変化に応じた機動的かつ的確な対応を図っていきます。

以上の結果、工業部門の受注高は25,064百万円（前年同期比12.3%減）、売上収益は22,108百万円（同9.0%減）、セグメント利益は1,253百万円（同40.0%減）となりました。

《医療部門》

＜メディカル事業＞

国内血液透析事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い医療機関への訪問を自粛するなど営業活動は制約を受けていますが、血液透析装置の販売は前年並みを確保しており、昨年からの販売を開始した国内の新型装置の引合いは伸びています。また、血液回路や粉末型人工腎臓透析用剤などの消耗品全般の販売は透析治療が継続的に行なわれたことにより、堅調に推移しました。海外市場は、中国向け出荷が前年同期比で伸長し、全体の売上収益増加に寄与しました。この結果、血液透析事業としては増収ながら、製造経費や物流費の増加等により減益となりました。

CRRT事業は、新型コロナウイルス感染症による急性腎障害対応へのニーズの高まりにより、特に中国において装置・消耗品の販売が増加し、欧州での引き合いも増加して業績は好転しつつあります。

このほか、空間除菌消臭装置「エアロピュア」やオゾン水手洗い装置「ハンドレックス」などのヘルスケア製品の販売が伸長しました。今後、新型コロナウイルス感染症などの感染症拡大防止への貢献のため、ヘルスケア製品の安定供給に向けた増産体制の構築を進めていきます。

以上の結果、医療部門の受注高は15,014百万円（前年同期比0.4%減）、売上収益は14,372百万円（同9.1%増）、セグメント利益は998百万円（同10.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は261,543百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,558百万円増加しました。現金及び現金同等物の増加が主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は181,600百万円となり、前連結会計年度末に比べて12,028百万円増加しました。借入金の増加が主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は79,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,470百万円減少しました。その他の包括利益を通じて測定する金融資産の減少が主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の停滞と原油価格の下落、航空機業界の減速など、当社を取り巻く事業環境は厳しく、予断を許さない状況が続いています。現時点では連結業績予想を据え置きますが、今後、各事業の環境変化の影響を見極め、各種施策の強化や対応策の効果を詳細に分析したうえで、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、当該業績予想で前提としている為替レートは、109円/米ドル、120円/ユーロです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	20,303	27,912
営業債権及びその他の債権	53,256	49,194
その他の短期金融資産	468	483
たな卸資産	35,523	38,563
未収還付法人所得税	470	688
その他の流動資産	2,997	3,297
流動資産合計	113,020	120,139
非流動資産		
有形固定資産	41,849	43,836
のれん及び無形資産	61,105	61,263
使用権資産	14,696	15,854
持分法で会計処理されている投資	2,947	3,375
長期金融資産	15,392	12,947
繰延税金資産	3,315	3,505
その他の非流動資産	657	620
非流動資産合計	139,964	141,403
資産合計	252,984	261,543

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	21,680	22,131
営業債務及びその他の債務	28,231	26,446
リース負債	2,550	2,590
その他の短期金融負債	820	855
未払法人所得税等	869	922
引当金	1,355	1,370
その他の流動負債	12,117	12,810
流動負債合計	67,625	67,127
非流動負債		
長期借入金	83,050	95,199
リース負債	11,830	12,964
その他の長期金融負債	949	1,075
退職給付に係る負債	3,315	3,293
引当金	284	282
繰延税金負債	2,399	1,542
その他の非流動負債	115	115
非流動負債合計	101,946	114,473
負債合計	169,571	181,600
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	11,001	11,001
自己株式	△2,519	△2,519
その他の資本の構成要素	1,447	△1,883
利益剰余金	65,063	65,085
親会社の所有者に帰属する持分	81,537	78,228
非支配持分	1,875	1,714
資本合計	83,413	79,942
負債及び資本合計	252,984	261,543

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	37,480	36,481
売上原価	△24,630	△25,137
売上総利益	12,849	11,343
販売費及び一般管理費	△10,843	△10,632
その他の収益	156	615
その他の費用	△7	△58
営業利益	2,154	1,268
金融収益	39	83
金融費用	△336	△359
持分法による投資利益	70	0
税引前四半期利益	1,927	993
法人所得税費用	△459	△224
四半期利益	1,468	769
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,402	733
非支配持分	65	35
四半期利益	1,468	769
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	19.70	10.30
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	19.67	10.28

要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期利益	1,468	769
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	68	△1,735
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	3
合計	67	△1,732
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△93	△1,514
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△4	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	23	△125
合計	△74	△1,730
税引後その他の包括利益	△7	△3,463
四半期包括利益	1,461	△2,693
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,359	△2,596
非支配持分	101	△96
四半期包括利益	1,461	△2,693

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額資産
2019年1月1日	6,544	11,069	△2,544	4,223	△1,800
会計方針の変更による調整額					
2019年1月1日（調整後）	6,544	11,069	△2,544	4,223	△1,800
四半期利益					
その他の包括利益				67	△106
四半期包括利益合計	—	—	—	67	△106
自己株式の取得			△0		
配当金					
子会社に対する所有持分の変動		△74			
所有者との取引額等合計	—	△74	△0	—	—
2019年3月31日	6,544	10,994	△2,544	4,291	△1,906

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2019年1月1日	△572	1,851	59,703	76,624	1,714	78,338
会計方針の変更による調整額			△233	△233		△233
2019年1月1日（調整後）	△572	1,851	59,470	76,390	1,714	78,105
四半期利益			1,402	1,402	65	1,468
その他の包括利益	△4	△43		△43	36	△7
四半期包括利益合計	△4	△43	1,402	1,359	101	1,461
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△711	△711		△711
子会社に対する所有持分の変動				△74	△18	△93
所有者との取引額等合計	—	—	△711	△787	△18	△805
2019年3月31日	△576	1,808	60,160	76,962	1,798	78,761

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2020年1月1日	6,544	11,001	△2,519	5,233	△3,108
四半期利益					
その他の包括利益				△1,732	△1,508
四半期包括利益合計	—	—	—	△1,732	△1,508
自己株式の取得			△0		
配当金					
所有者との取引額等合計	—	—	△0	—	—
2020年3月31日	6,544	11,001	△2,519	3,501	△4,616

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2020年1月1日	△677	1,447	65,063	81,537	1,875	83,413
四半期利益			733	733	35	769
その他の包括利益	△90	△3,330		△3,330	△132	△3,463
四半期包括利益合計	△90	△3,330	733	△2,596	△96	△2,693
自己株式の取得				△0		△0
配当金			△712	△712	△64	△777
所有者との取引額等合計	—	—	△712	△712	△64	△777
2020年3月31日	△768	△1,883	65,085	78,228	1,714	79,942

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。